



1

手を洗おう。手をつなごう。

10/15「世界手洗いの日」プロジェクト

報告者 香川県高松市社会福祉法人敬愛保育園 主任 内田 麻美先生

1、活動のポイント

本園は、「“老いを敬い、弱きを扶け、幼きを守る” 敬愛互助の仏教精神のもと、温かい協調性豊かな人間形成の基礎を培うと共に音楽・絵画等の情操教育、実体験保育を通して心身共に健やかな子どもの育ちを援助すること」を保育方針にしています。また、保育の内容では、清潔で安全な環境の中で、一人ひとりの子どもの健康状態、心身の発育や発達状態を把握し、甘えや欲求などを優しく受容し、愛情豊かに援助する保育士と共に生活します。10月15日は、「世界手洗いの日」に、本園では、日本ユニセフ協会香川県支部のみなさんと「世界手洗いの日」プロジェクトを行いました。

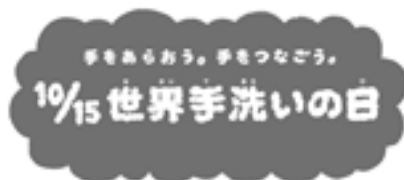


敬愛保育園園舎

2、「世界手洗いの日」プロジェクト

1、「手洗い」についての話を聞く

当日、香川県支部のボランティアさんより、手洗いの紙芝居を見せていただき、「手洗いをどんなときにするのか」、「手洗いすると、どんな良いことがあるのか」のお話を聞きました。



ユニセフの方のお話を聞く

国際衛生年であった2008年、手洗いの大切さと、石けんを使った正しい手洗いの仕方をたくさんの人たちに知ってもらうために、毎年10月15日が『世界手洗いの日』と定められました。2009年には、「子どもたちに、正しい手洗いの大切さを楽しく伝えたい。そして、衛生と子どもの命について、もっと知ってもらいたい。」という思いから『世界手洗いダンス』が生まれました。

2、「世界手洗いダンス」を踊る

園児は、一人ひとりが工夫して作った石けんの泡のお面をつけてお話を聞きました。お話を聞いたあとに、手洗いの大切なポイント6カ所（手のひら・つめ・親指のつけね・手のこう・指のあいだ・手首）をおさえ、音楽に合わせて「世界手洗いダンス」を全員で踊りました。



石けんの泡のお面をつけた園児



世界手洗いダンスを踊る園児たち

3、手洗いをする

ダンスを踊った後に、園児たちは手洗いポスターを見ながら、手洗いの6カ所のポイントを声に出して手を洗いました。



手洗いをする園児たち

3、まとめ

子どもたちはお話を聞いて、手洗いをする、汚れやばい菌が流れていくことで、病気の予防になることや、世界では、手洗いを知らなくて病気になる人がいること、きれいな水を飲めない子どもたちがいることもわかりました。また、「世界手洗いダンス」を全員で踊り、楽しく学び理解を深めることができました。子どもたちは「世界にはいろいろな国があるけれど、手洗いの大切さは同じだね。」と話し合うなどとても有意義な時間を過ごすことができました。